

岩田健三郎さんの版画教室

今年も岩田健三郎さんの版画教室を開催します。手づくりのぬくもりあふれる年賀状をつくってみませんか。

日時：12月7日(日)
13時30分～
場所：柳田國男・松岡家記念館
2階会議室
費用：材料費100円
持ち物：筆記用具

彫刻刀※お持ちでない方は、
申し込みの際にお申し出
ください。



岩田健三郎・画「岩橋」

参加ご希望の方は、記念館(☎22-1000)まで申し込みください。
小学生低学年の方は、保護者同伴での参加をお願いします。

記念館新聞



福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原
1038の12
電話：0790-22-1000

「遠野物語生誕の地 遠野」

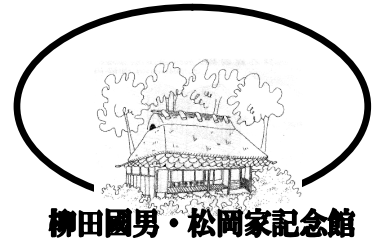
展示を終えて 「國男と喜善」

当館では、10月18日(土)から11月24日(月・振休)にかけて、秋季展「松岡五兄弟の原点」福崎からたどる軌跡」と「福崎子どもふるさと展」を開催しました。



見学のようす

そして、会期中の11月1日(土)から16日(日)には、友好都市締結記念企画展「遠野物語生誕の地 遠野」が開催されました。遠野に伝わる不思議な伝承を、國男に語った佐々木喜善を紹介した貴重な展示となりました。



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆

☆開館時間
9時～16時30分
(入館は16時まで)
☆休館日
月曜日、祝日の翌日
12月28日～1月4日
☆入館料
無料

故郷七十年を 読む

名作著書紹介



喜善は、明治19年(1886)に、岩手県西南閉伊郡柞内村(現遠野市土淵町)に生まれました。そして、明治41年(1908)に國男と出会いました。國男は、喜善から熱心に話を聞いて『遠野物語』を著しました。

『記念館新聞』第68号でお伝えしたように、医大生であった兄の鼎は代診を勤めて得たお金を両親に仕送りをしていました。このお金を北条(現加西市北条)の郵便局まで取りに行くのが、國男の役目でした。下の写真は、郵便局があったと考えられる場所です。郵便局でお金を受



北条郵便局があったと考えられる場所

け取った國男は、北条の外れまで来ると、その地方で有名な1軒の家の前でしばらく遊びました。この家には檜の木が生垣がめぐらしてあったので、「ブロンガワ」と呼ばれていました。このブロンガワについてはよくわかっておりません。何かご存じの方は当館までお寄せください。

東北地方の民俗であるカマクラの歴史と雪室の地域性を紹介いただきました。福崎とは異なる気候や地域が生み出す事例に、皆さんが関心を持たれていました。2日にわたり、文化の秋を堪能していただけたのではないのでしょうか。



講演会のようす



11月15日(土)に伊勢大神楽が、記念館前広場で行われました。獅子舞や傘回しなどに歓声があがり、多くの皆さんに楽しんでいただきました。

そして、11月16日(日)に、昨年度の日本民俗学会奨励賞の受賞者である後藤麻衣子さんに、当館で講演いただきました。